

Title	編集後記 奥付
Sub Title	
Author	辻村, 江太郎
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1954
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.47, No.2 (1954. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19540201-0091

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

- * イデオロギーとユートピア (創元新書) マンハイム著 樺俊雄譯 B 40 一四〇頁 一〇〇圓 創元社
- * ソ同盟における社會主義の經濟的諸問題 2 (知識文庫) コンスタンチノフ他著 知識文庫刊行會譯 B 6 小 一三八頁 八〇圓 岩崎書店
- * 中國革命の思想 (岩波新書) 竹内好他著 B 40 二二〇頁 一〇〇圓 岩波書店
- * 社會主義 (文庫クセジュ) プールジャン、ランベール著 船越章他譯 B 6 小 一三八頁 一〇〇圓 白水社
- * ソヴェト・コンミニズム 2 |新しい文明| ウェッパ夫妻著 木村定他譯 B 6 二九四頁 三〇〇圓 みすず書房
- * 第二インスタンショナルの崩壊他十六篇 (國民文庫) レーニン著 吉田弘譯 A 6 二七六頁 一一〇圓 國民文庫社
- * 辨證法的唯物論 山崎謙著 B 6 一八四頁 一五〇圓 新科學社
- * 北海道社會經濟圖譜 一九五三 地域經濟研究所編 B 6 四〇頁 三〇〇圓 石崎書店
- * 民族資本と勞農階級 (現代國民選書) 藤田敬三編 B 6 二八八頁 二五〇圓 創元社
- * 日本の財閥 1 (知識文庫) ハヴズネル著 橋本弘毅譯 B 6 小 一八七頁 九〇圓 岩崎書店
- * 日本の財閥 2 (知識文庫) ハヴズネル著 橋本弘毅譯 B 6 小 一六二頁 九〇圓 岩崎書店
- * 日本資本主義講座 1 堀江正規編 A 5 三九九頁 二八〇圓 岩波書店

經濟事情

辭書年鑑

- * 日本經濟の現状 日本經濟新聞社經濟解説部編 B 6 三四〇頁 三〇〇圓 同文館
- * 續日本經濟の構圖 板垣與一編 B 6 二七〇頁 二五〇圓 如水書房
- * 日本經濟四季報 2 (一九五三年第二期) 日本經濟調查會編 B 6 三二六頁 二五〇圓 大月書店
- * 勞働年鑑 一九五四年 社會文化研究所編 A 5 五三六頁 七五〇圓 社會文化研究所
- * 勞働經濟四季報 勞働經濟研究會編 B 6 三二六頁 二五〇圓 勞働經濟社
- * 世界經濟年報 11 (一九五三年 第二・四半期) 世界經濟研究所編 B 6 三〇二頁 二五〇圓 大月書店
- * 經濟白書 昭和二十八年年度 經濟審議廳編 三三三頁 二〇〇圓 經濟統計協會
- * 第四回統計年鑑 昭和二十七年 總理府統計局編 B 5 四七二頁 一八〇〇圓 毎日新聞社

編集後記

理論經濟學の性格を規定する際にそれを理論物理學と對比することが初歩の學生のみでなく専門家のあいだにも屢々みられる。現代の理論物理學者が紙と鉛筆だけで研究をすすめることができるのと同様に經濟學者も充分な資料の集積のうえに立つて、それを矛盾なく説明しようとする理論を構成すればよいというのがそれである。しかし乍ら經濟現象は人間の行爲であるから物理現象以上に我々によく知られていないという前提に立つた右の類推は途方もない誤りである。組織的な觀察、實驗の整理された資料に對して、漠然とした受動的な經驗の堆積が理論構成の素材として同程度の價值をもつ主張することはできない。強いて類推するならば一八七〇年代の價値論の確立はガリレイの力學對話に、エンゲルの發見はケプラーに先立つティヒヨブラーエの觀測に對應するもので、古典力學に對應するだけのものが經濟學にあるか否かさえ疑わしいといえよう。手をよごさずにリンゴの落ちるのを見ただけで定差微分混合方程式によるエレガントな體系を組もうとする安易な考えからフィクショナルの氾濫とセオリーの貧困が生れ、(實驗計畫の樹て方を知らずむやみな實態調査から同義語反覆的な結論を出す行き方とともに)素人をして經濟學とは標語の羅列なるかのごとく錯覺させるに到るのである。社會が物理學者にサイクロトロンをあてがうのなら自分達にも電子計算器を要求する權利と義務があることを經濟學者一般が認識する日の早からんことを祈つてやまない。(辻村江太郎)

昭和二十九年一月二十五日印刷
昭和二十九年二月一日發行

第四十七卷 定價 七〇圓
第二號 送料 八圓
編輯者 氣賀健三
發行所 東京都港區芝三田慶大經濟學部
印刷所 圖書印刷株式會社
川口芳太郎

發行人 慶應義塾經濟學會
發行者 氣賀健三
發行所 東京都港區芝三田二丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室内
慶應義塾經濟學會